

「福島国際研究教育機構設立委員会」(第1回)

議事要旨

日 時：令和4年11月22日(火) 16:30~17:00

場 所：中央合同庁舎4号館4階共用第4特別会議室及びWeb会議

出席委員(敬称略)：

石田 優	復興庁事務次官
角田 隆	復興庁統括官
由良 英雄	復興庁統括官
寺崎 秀俊	復興庁審議官
森田 稔	復興庁審議官
岡本 裕豪	復興庁審議官
覺道 崇文	内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官
長野 裕子	内閣府健康・医療戦略推進事務局次長
森 晃憲	文部科学省研究振興局長
城 克文	厚生労働省大臣官房医薬産業振興・医療情報審議官
川合 豊彦	農林水産省大臣官房技術総括審議官兼農林水産技術会議事務局長
片岡 宏一郎	経済産業省大臣官房福島復興推進グループ長
上田 康治	環境省総合環境政策統括官
片岡 隆一	産業技術総合研究所理事
中谷 誠	農業・食品産業技術総合研究機構副理事長
星野 利彦	量子科学技術研究開発機構理事
堀内 義規	日本原子力研究開発機構理事
是澤 裕二	国立環境研究所理事
鈴木 正晃	福島県副知事
山崎 光悦	福島国際研究教育機構の理事長となるべき者

1 秋葉復興大臣冒頭挨拶

会議冒頭、秋葉復興大臣より以下の内容の挨拶があった。

- ・ 関係府省庁、関係国立研究開発法人におかれては、これまでF-REIに関する検討・推進にご参画をいただくとともに、来年のF-REI設立に向けての体制整備にも、職員の出遣を含め多大なるご尽力を頂いてきたことに対して、厚く御礼を申し上げます。
- ・ F-REIは、福島をはじめ東北の復興を実現するための夢や希望となるとともに、言わばナショナルプロジェクトとして整備すべきものであり、オールジャパンでのイノベーションの創出や経済成長、さらには国民生活の向上に貢献することを目指すもの。
- ・ 9月16日の復興推進会議においては、岸田総理から、F-REI設置の効果が広域的に波及するよう、福島県・市町村や大学その他の研究機関等と連携し、復興庁を中心に関係府省庁が協力し取り組むこと、また、設立に向けて、関係府省庁の全面的な参画を得つつ、人的体制の整備に万全を期すとともに、設立後の長期・安定的な運営を支える組織体制・財政基盤を構築するために政府を挙げて取り組むこと、等の御指示があった。
- ・ 総理の御指示を踏まえつつ、F-REIが世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」とし

て羽ばたくために、まずは来年4月の円滑な法人設立に向け、設立委員各位におかれては、必要な準備作業を着実に推進いただきたい。

2 議事

(1) 設立委員の紹介

設立委員の紹介に際し、機構の理事長となるべき者である山崎委員より以下の内容の挨拶があった。

- ・この3月まで8年間、金沢大学長として地方大学の改革等に取り組んできた。
- ・本年7月22日に岸田総理大臣から福島国際研究教育機構の理事長予定者として御指名を受けて以降、来年4月1日を迎えるべく、様々な調整、諸準備を行っている。
- ・福島だけに留まらず、多くの方が地域に戻って来られる、あるいは新たに住む方が増えるように、産業集積の元となるような研究活動を実施し、世界的な拠点としていくことは困難な課題ではあるが、関係の皆様方のご協力も頂きながら良い体制を築いてまいりたい。よろしくお願い申し上げます。

(2) 福島国際研究教育機構設立委員会規則（案）について

事務局より資料2に基づき説明後、議決。反対意見なく、原案通り決定された。

(3) 委員長選任

上記委員会規則第二条第一項に基づき、委員の互選により、石田委員が委員長に選任された。

(4) 福島国際研究教育機構の概要及びこれまでの設立準備状況について

事務局より資料3に基づき説明があった。

(5) 設立に関する事務の処理について

事務局より資料4に基づき設立に関する事務の処理（役員（理事）人事、職員の採用等、機構の運営に係る契約、研究開発等に係る契約等、その他）について（案）を説明後、議決。反対意見なく、原案通り決定された。

(6) 設立までの今後のスケジュール

事務局より資料5に基づき説明があった。

併せて、4月に開所記念シンポジウムを予定していること、本日議決した内容について関係省庁にも共有すること、第2回委員会の詳細日時は改めて事務局が調整することの連絡があった。

以上